

# おめでとうませ！山口国体

## いよいよ開幕！

### 長門市開催競技特集

#### 夢と感動の舞台、開幕！

みんなの一生懸命がきらめく夢と感動の舞台、「おめでとう！山口国体」が、いよいよ10月1日から開幕します。

戦後復興の中でスタートした、国民体育大会。おめでとう！山口国体は、国体の原点に立ち返り、「たちあがれ！東北、がんばろう！日本」を合言葉に、東日本大震災の被災地のみならず、全国に向けて勇気と希望、そして元気を送る大会として開催します。

昭和38年の第18回大会開催から、実に48年ぶりの開催となる今回の山口国体。全国各地から集ったトップアスリートたちの力と技の競演を、ぜひこの機会に競技会場へ足を運んで観戦しましょう。

#### 競技の記録速報もチェック

競技記録の速報を、インターネット・携帯サイトで確認することができます。また、全37正式競技の様子を動画で視聴することもできます。

- 競技記録速報サイト  
<http://www.kirokukensaku.com/choruru2011/>
- 携帯サイト  
<http://www.keitai.kyogikeka.com/choruru2011/>
- 案内期間 10/11(火)まで
- ちよるるチャンネル(動画配信サイト)  
<http://www.choruru-ch.pref.yamaguchi.jp/>
- 配信期間 12/31(土)まで

#### 市内では3つの競技を開催

おめでとう！山口国体では、山口県内各地で全37の正式競技が開催されます。(正式競技等の日程・会場については、9月1日号に掲載)

ここ長門市では、「ラグビーフットボール(少年男子)」、「空手道(全種別)」、「自転車(ロード・レース)」の3つの正式競技が行われます。今回の特集では、この長門市開催3競技について詳しくご紹介し、その魅力に迫ります。全国各地から参加される選手のみなさんにあたたかい声援を送って、大会を盛り上げましょう。

問い合わせ  
企画総務部 国体推進課 国体推進係  
TEL: 37-2188

### ラグビーフットボール Rugby Football (少年男子)

#### お互いをたたえ合う、それがノーサイド

試合終了を意味する「ノーサイド」。

この言葉は、どんなに激しく戦っても試合が終われば敵味方なく互いに友情を育むというラグビー文化の象徴的な言葉でもあります。互いに認め合い、ともに歩むことの素晴らしさを、ラグビーは教えてくれるのです。

1人はみんなのために、みんなは1人のために。激しいぶつかり合いの中で、仲間と協力してトライを目指します。これこそがラグビーの一番の醍醐味です。



- 会場 俵山多目的交流広場
- 日程 10/2(日) 10:30 1回戦

(山口県対青森県は、10:30試合開始)

10/3(月) 10:30 2回戦  
10/5(水) 10:30 5・7位決定戦  
13:10 準決勝戦  
10/6(木) 10:30 決勝戦

### 空手道 Karatedo (全種別)

#### 息つく間もない迫力の攻防

空手道は、中国の拳法を伝承し琉球王国時代の沖縄で発祥した武道で、道具を使わず自分の手足を使って相手を一撃で倒す打撃技を特徴とする日本伝統武道の一つです。

実際に相手と技の攻防を行う実践形式の「組手(くみて) 競技」と、四方八方からのさまざまな攻撃を想定して各種の技を一人で演武する「形(かた) 競技」が行われます。スピード感や迫力があふれる技の展開が見どころです。



- 会場 ながと総合体育館(ルネッサながと)
- 日程 10/8(土) 少年男子・女子形

10/9(日) 成年男子・女子組手  
少年男子・女子組手  
成年男子・女子形  
組手団体戦 1・2回戦  
組手団体戦 3回戦 決勝戦

### 自転車ロード・レース Bicycle Road Race

#### 仕掛けどころが勝負の分かれ目

時速40km以上の平均速度で疾走する、自転車ロード・レース。その「スピード感」が大きな特徴であり、面白さの原点です。

自転車ロード・レースは、「高速」で走るため風圧の影響を強く受けやすい。その風圧にどう立ち向かうか。ここがロード・レース競技の大きなポイントとなるのです。

集団の中で風圧を避けて体力を温存するのが、あるいは風を受けるリスクを負って集団から先行するのかが、選手同士の駆け引きに注目です。

美祿市をスタート・ゴールとし、長門市を經由してカルストロードを周回する成年144km、少年116kmの特設ロード・レース・コースで競われます。



- 会場 美祿市発着特設ロード・レース・コース
- 日程 10/9(日) 成年の部/9:00スタート

少年の部/9:10スタート



美祢市秋芳町出身。山口県立大津高等学校3年。小学生の頃にラグビーを始め、中学生時代には全国大会にも出場。大津高校入学後も、チームの要として活躍している。

日常の中からすでに  
ラグビーは始まっている

泉 凌太郎

ラグビーフットボール

ムービング・ラグビー。今年のオール山口がテーマとしている言葉です。

全国から強豪が集まる国体では、どこのチームもみな体格、技術とかなりレベルが高いんですよね。その中でぼくたちが戦っていくためにはどうしたらいいのか。その答えがこの「ムービング・ラグビー」という言葉に込められています。

ラグビーの試合中や練習中だけでなく、日常生活のいろいろな行動をとにかく「早く」する。これによって自身の「スピード」をアップさせ、敵よりも一歩でも二歩でも早く動けるようになることが目的なんです。

日常生活の中でも、ぼくたちのラグビーは育まれているといっても過言ではないと思いますよ。

ラグビーに誘ってくれたのは父でした。早稲田大学のファンだった父からの勧めで、



小学生の時に山口ラグビースクールに入りました。高校進学時には県外の高校への進学も考えたのですが、地元山口で国体が開催されるということもあって、大津高校への進学を決めました。

山口国体では、全国の強豪チームと対戦することになります。結果を出したいという気持ちはもちろんありますが、まずは「一勝」。

相手がどうであれ、自分たちがしたいラグビーをするということを一番大切にしたいですね。自分の能力が全国の選手相手にどこまで通用するのか。今から大会が楽しみですよ。

長門市開催競技ということで、応援してくださいの方も多くいらっしゃると思います。みなさんの期待に応えることができるよう、「まずは一勝」を目指してがんばります。

「攻め」、あるのみ

鈴木 ゆかり

空手道

初めての「国体」の舞台。とにかくプレッシャーが大きいですね。まずはプレッシャーに打ち勝って、自分の力を出し切ることだと思います。

国体は、私たち選手の中でも特別な大会で、「スポーツの祭典」というか、ほかの大会とは違う雰囲気があるんですね。開催地のみなさんが盛り上げてくださるので、出場選手にとっても励みになります。



私にとって初めての国体が、地元開催のこの山口国体。結果を出すことはもちろんですが、しっかり楽しみたいです。

空手を始めたのは、3歳の頃なんです。もう20年になりますね。兄1人、姉2人の4人兄弟の末っ子なんです。兄弟4人みな空手をやっています。兄、姉の影響で始めたというよりは、気がついたら道場にいたみたいなんです。

空手道は、選手それぞれ違う持ち味があると思うんです。人それぞれの動きを見て、すごいとか、かっこいいとか。礼儀作法を一から学べるといっても、空手道の醍醐味だと思います。

一番の敵は「緊張」かな。試合前はとにかく緊張するんですよ。前日の練習時とは違うんです。とにかく緊張しないようにと、いつも試合直前は音楽を聴いて気持ちを高めています。ジェニファー・ロペスの曲がお気に入りです。聞いているんですけど、今回の国体では入場するときこの曲が流れる予定です。

目指すは、「優勝」。母校近畿大学空手道部のモットーでもある「行け！行け！」の「近大魂」で、ひたすら押す空手でがんばります。



静岡県周智郡出身。近畿大学卒業後、今年4月にフジミツ株式会社に入社。3歳の頃より空手を始め、昨年は全日本選手権団体戦で3位入賞を果たすなど全国各地で活躍中。

そこからレースが  
動き始める

白石 真悟

自転車ロード・レース

風圧をしのいで力を温存し、勝負所をいかにフレッシュな状態で迎えられるか。ここが自転車ロードレース競技の一番のポイントなんです。

今回のレースは、美祢市発着で秋吉台のカルストロードを2周するコース。アップダウンの激しい登り勝負のコースだと分析していたのですが、実際に走ってみると想像以上に難しい。地図上ではわからない目に見えないアップダウンが所々にあるんですよ。

登りが強いだけでもダメ。平坦が強いだけでもダメ。ロードレースの様々な要素が詰まった、トータル能力が求められる難易度の高いコースだと思います。

ロードレース競技は、前半は選手が集団となった状態で進み、終盤になってレースが

動き始めます。ところが最近では早めのスパートでレースが動くことが多いですね。ロードは、展開次第で力関係がひっくり返ることもよくあるんです。

そういう意味では、レースの展開を読み、戦略をしっかりと立てて、どこで勝負に出るのか。ここが一番のキポイントになってくると思います。

自転車の醍醐味は、自分の力でどこでもいけるということです。「自力」であることが自分の力でここまでこられたんだという達成感があるんですよ。

今回の国体をきっかけに、自転車競技の振興に繋がればと思っています。夢は、長門で「ロードレース大会」を開催することです。



愛媛県今治市出身。株式会社シマノ勤務。マウンテンバイク日本代表選手として、世界選手権等に出場。平成21年に長門市へ転入。その後ロードレースへ転向し全国で活躍中。